

スーパード勤務後に練習

×歴史を刻め

マツゲン箕島硬式野球部

社会人野球
日本選手権

①

チーム紹介

マツゲン箕島硬式野球部は第44回日本クラブ野球選手権大会（日本野球連盟、毎日新聞社主催）で優勝し、第45回社会人野球日本選手権（同）に2年ぶりに出場する。選手全員がスーパー「松源」で働きながら野球を続けているクラブチーム。これまで日本選手権に出場したことはあるものの、勝利したことはない。悲願の1勝を目指しているチームを紹介する。【後藤奈緒】

チームは西川忠宏監督（58）ら県立箕島高出身者が中心となり、1996年に発足した。現在は箕島高出身者だけでなく、甲子園で活躍した選手や企業チームにいた選手らが県内外から集まり、選考を経て入部している。選手30人は全員スーパ

シーズンオフには地域貢献活動も

変です」と笑う。

シーズンオフの12月ごろからは、積極的に地域

貢献活動にも取り組んでいる。近隣の保育所に出向き、垣根の枝切りや側



保育園の清掃を手伝う選手ら

有田市で18年12月（マツゲン硬式野球部提供）

溝の掃除などを手伝う。有田市が主催する「有田みかん海道マラソン」では、ランナーの誘導などサポート役を担う。また、地元の子どもたちに野球に親しんでもらおうと、毎年野球教室も開いている。

チームは今年1月、「和歌山箕島球友会」から企業名「マツゲン」を冠した「マツゲン箕島硬式野球部」に名前をリニューアルした。西川監督は、「箕島」を残したのは、古くからのファンや地域とのつながりを大事にしたかったから」と説明する。チームが日本選手権に出場する度に、地域住民らが応援に駆けつけてくれている。

6回目の出場となる日本選手権では29日、トヨタ自動車と対戦する。矢野主将は「初勝利を挙げて新しい歴史を刻みたい」と意気込んでいる。